

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第35号

福山市身連通信

2019 (R. 1) 年 7月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目 次

福山市身連理事会開催	1
市身連新年度総会開催	2
改選新役員名簿	3
市身連決算報告	4
県障害者陸上競技大会 日身連全国(秋田)大会参加	5

福山市身体障害者団体連合会

二〇一九年度第一回理事会

日時 平成三十一年四月二十日(土)
会場 福山市市民参画センター会議室

平成最後の四月が来て福山市身連は新年度活動のため活動方針の決定や役員改選をするため総会を開催しないとなりましたが、先ず理事会を開いてその原案作りをするにかかりました。

例年のことですが理事会は事務所ので人数的には十分開催可能なのですが、土・日には人権センターで年度替わりの大人数の会合が予定されていて、そちらが優先されるため駐車場が使用せず四月の理事会はすこやかか参画の会議室を予約することになります。

今年も予定の日はどこも予約でいっぱい、日にちを変えて参画センターの五〇人用の会議室を借りて二〇人で開催しました。

平成最後の四月が来て福山市身連は新年度から理事になった方ももう予定の二名に返信用のハガキ同封で案内状を送り、結果当日一〇名の理事と監事二名が出席され、他の欠席者も委任状が出されていて理事会は成立しました。

前月までの連絡会で、新年度の活動について検討していて、会計については三月末に会計書類を税理士事務所に預け決算書を依頼していたものが四月の連絡会の頃出来て、九日に監査を受けて報告できるようになっていきます。

しかし、これらの資料をまとめて理事会の準備を事務局で用意してもらおう予定が急遽事務局長が体調不良になり入院されることになって出来なく、事務次長も要領がわからないと言われ、村上台計が資

料作りを代行することになりました。

もう一つの議事である任期満了の役員改選については前年度二名が任期中に亡くなり退任、他に理事会案内の返信で一名が免許証返納で退任すると思表示されており、三名が減ることになります。現理事長が退任のするということが新年度の理事長候補に理事一名と、福山協会の会長交代でもう一名の新理事候補に就任のための書類を提出してもらっていてこれを理事会で決定して、総会での役員改選に提出出来るようにしました。

理事会当日の参画センターも会議室の使用が多くそのため駐車場が厳しく出席の遅かった人は第二駐車場にやっと停められました。そのため一五分遅れで開会となり先ず治療中から復帰された事務局長がそのことの挨拶をして理事長の開催の挨拶で議事に入りました。

先ず議事録署名人を指名して、議事の提案は坪山事務次長と村上

会計が行いますと説明し議案について審議となりました。

前年度事業や決算報告では新理事長候補の人からその内容についての質問がいくつかあって、それらの説明をして承認となりました。続く新年度計画・予算では資料の提案後、資料作成時入院中であった事務局長が補足説明として、これから新年度の事業として助成の申請を予定していることなどの話があつて承認となりました。

続く任期満了で改選の役員については再任の候補に二名の新任の候補を加えた理事と二名の監事のリストを提案して異議なく承認、これを総会で決定して、総会では決定後総会を一時休憩して理事長を選出することにし、その後総会を再開し理事会での決定を報告することを決めました。

これで理事会の議事を終了し、総会の日程と会場についての準備について説明し、決定でき次第総会案内を送ることを告知して理事会の終了となりました。

福山市身体障害者団体連合会

新年度通常総会開催

日時 令和元年五月十二日(日)午後
会場 福山市人権交流センター会議室

平成がおわり令和となった五月は史上初の十連休で始まることになりましたが、それが終わった十二日に福山市身連の総会を開催しました。

四月の土日は人権センターでの会合が多く我々の行事を予定しても出来ませんでした。五月になると少なくとも1ヶ月前に会議室の予約がスムーズに出来ました。

今年度個人会員の募集もして正会員は655名になっていきますので全員に連休になる前に総会の案内を出し、連休中も郵便の集配は二度ほどあると聞いていましたが、連休後を締切に通知しました。その締切に二名だけ返信がありました。その締切に二名だけ返信がありましたが、ほかは出席・欠席の意思を示した返信があり、出席はやっとなり半数の人数でした。

しかし欠席者のうちそれぞれの所属会長や議長に委任するとこれも二名を除き記入されていて総会は成立する見込みとなりました。

総会は例年前年度の事業や決算の承認を受け、新年度の活動予定や予算を決定しますが、今年はそのれに加えて役員改選年なので理事会で検討して候補者を決めて、定款に総会で決まることになっていきますのでその案を作りました。

総会議事の審議へ

午後の開会でしたが要約筆記の方たちもはやめの用に用意いただき、一・二名が遅刻でしたが定刻に総会の成立を宣言して開会しました。昨年まで二年程は議長を二人でやってもらっていましたが、それ程長時間の総会ではなく今年も正会員

から一名を選んでの議長を江草会員に受けてもらい、議事録署名人も毎月のように会える人を指名して議事に入りました。

先ず前年度の報告を事業、決算、監査の報告をそれぞれ坪山事務次長、村上会計、園生監事が発表し、議長がこれらについて質問があれどどうぞと発言を求めましたが質問なく拍手で承認されました。

続いて今年度の計画と予算について同じく事務次長と会計が発表して、年度末から入院中だった根本事務局長が事業について補足説明をして、議長から質問があればと発言を求めましたが説明を補足したこともあり質問はなくこれも拍手で可決されました。

次の議題は前年度で任期満了の役員の改選で、前理事会で決めた候補のうち、そのあとで亡くなった田上氏を除くリストを提案し満場一致で決定となりました。

総会休憩、理事会開催

決定を受けて総会を一時休憩して別会場に新理事が移動し新理事長の選任をする理事会を開催しま

した。

総会の案内状にこの理事会についても案内していて、その予定通りの手順で市身連事務所の会場で理事会の議事として候補として予定されていた菅原理事を理事長として提案し、全会一致で決定となりました。これに対し本人も承諾の意思を示し、そのほかの連合会役員も決定して、年間の行事に対する対応は連絡会であることを確認し理事会を早々に切り上げ、会員を待たせている総会に結果を報告し菅原新理事長が就任の挨拶をして、総会議事を終え議長解任となり総会を終了しました。

.....

総会の決定を受けて連合会は、県庁に活動報告をし法務局に理事長交代の登記を郵送して認可を申請しましたが、県には認めてもらえましたが、法務局は前役員の任期中での理事長選任は認められないとクレームがあり、申請し直して登記完了となりました。

令和1年改選 新役員名簿

2019.4~2021.3

役名	役職	氏名	所属	県身連
理事	顧問	鎌刈 拓也	加茂	相談役
理事	顧問	前川 昭夫	視覚	
理事	相談役	江草 忠儀	福山	
理事	理事長	菅原 晃	車イス	理事
理事	副理事長	井上 佐智子	難聴	
理事	副理事長	門田 潤美	ろうあ	会員代表
理事	事務局長	根本 敏太郎	視覚	理事
理事	事務次長	坪山 明生	車イス	
理事	会計	村上 友一	福山	
理事	会計補佐	大村 徳子	福山	
理事		藤原 信弘	加茂	
理事		大成 敏正	視覚	
理事		三島 茂	新市	
理事		種本 益明	福山	
理事		小川 愛二	松永町	
監事		鴨田 弘道	駅家町	
監事		園生 浩治	神辺	

ご寄付の御礼と訃報

平成三十一年が明けてまもない頃、神辺協会会長で連合会でも役員として活躍されている 田上敬二氏 が持ってはいるが使っていないカラオケセットを連合会に寄付しますと連絡があり、モニターがなくては役に立たないのでその代金も同時に寄付しましょうと届けていただき、新年度にモニターを買わせて頂きますと電話していました。その後総会の案内をして返信を待っていましたが、総会直前息女の方から父はなくなりましたと返信があり、四月末に入院先で亡くなられたそうです。葬儀は既に済まされていて、連合会としては香料だけ送りました。人格者であり連合会としては大変残念ですが御礼と安らかなご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

特定非営利活動法人 福山身体障害者団体連合会

平成30年度決算書

活動計算書

貸借対照表

(それぞれの表の単位は円)

平成30年4月1日～31年3月31日

平成31年3月31日現在

活動計算書			貸借対照表		
平成30年4月1日～31年3月31日			平成31年3月31日現在		
科目	金額	合計	科目	金額	合計
I 経常収益			I 資産の部		
1 受取会費			1 流動資産		
正会員会費	26,500		現金預金	3,407,985	
団体会員会費	49,000		前払金	800	
行事参加会費	536,900	612,400	流動資産合計		3,408,785
2 事業収益			2 固定資産		
自動販売機収入	316,912	316,912	有形固定資産	0	
3 受取寄付金			無形固定資産	0	
寄付金	124,000	124,000	投資その他資産	0	
4 受取助成金等			固定資産合計		0
福山市助成金	1,200,000		資産合計		3,408,785
日身連助成金	25,000		II 負債の部		
その他助成金	10,000	1,235,000	1 流動負債		
5 その他の収益			未払金	32,844	
受取利息	234		未払法人税等	98,400	
雑収入	250	484	流動負債合計		131,244
経常収益計		2,288,796	2 固定負債 合計		
II 経常費用			負債合計	0	131,244
1 事業費			III 正味財産の部		
① 人件費			前期繰越正味財産	3,119,716	
福利厚生費	196,034		当期正味財産増減額	157,825	
人件費計	196,034	196,034	正味財産合計		3,277,541
② その他経費			負債・正味財産合計		3,408,785
通信運搬費	104,307				
消耗品費	28,678				
水道光熱費	124,621				
大会活動費	771,539				
委託費	54,000				
諸会費	746,872				
会議費	5,000				
賃借料	1,520				
法人・住民・事業税	98,400				
その他経費計		1,934,937			
事業費計		2,130,971			
経常費用計		2,130,971			
当期経常増減額		157,825			
III 経常外収益			II 負債の部		
経常外収益計		0	1 流動負債		
IV 経常外費用			未払自販機電気代	25,920	
経常外費用計		0	未払NTT電話料	6,924	
経理区分振替額	28,803		未払法人税等	98,400	
当期正味財産増減額	157,825	157,825	2 固定負債	0	
前期繰越正味財産額		3,119,716	負債合計		131,244
次期繰越正味財産額		3,277,541	正味財産合計		3,277,541

財産目録

平成31年3月31日現在

科目	金額	合計
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	38,548	
広島銀行普通預金	498,269	
JA普通預金	169,791	
JA定期預金	2,701,377	
前払金	800	
2 固定資産		
資産合計		3,408,785
II 負債の部		
1 流動負債		
未払自販機電気代	25,920	
未払NTT電話料	6,924	
未払法人税等	98,400	
2 固定負債	0	
負債合計		131,244
正味財産合計		3,277,541

第十二回広島県障害者陸上競技大会

日時 令和一年五月十九日(日)
会場 尾道市びんご運動公園

毎年五月に開催されている障害者の陸上競技大会が、今年はいつもの会場である東広島陸上競技場が改修中ということで会場を変えて、しかも日程もずれて第三日曜の十九日に尾道市のしまなみ陸上競技場で開催となりました。

広島県に障害者スポーツ協会が出来て三回目の主催大会で身体的・知的の障害者が競技しこの成績で全国大会に選ばれる大会ですが、最近では以前のように福山市の広報にこの大会の案内は載せてもらえず、参加希望者はインターネット等で情報を取り直接東広島に申込しないと参加できず障害の種類によつては申し込みに困る人もありますが、差別解消とはなりません。その福山からの参加申込者が何人いるか、連合会はスポーツ協会に確認を取り応援を含めて団体で参加するために問い合わせたところ

七名だけでしたが、これらの人にバスでのコース等の連絡をして乗り合わせて参加しますが、今年尾道ですので、早朝から高速を使つて行く必要はありませんでした。

この大会の弁当は参加者側でそれぞれ用意することになっていましたので、バスと共に弁当も連合会で用意しますので当日雨天中止の時も何処へ行くか考える必要があたりします。

昨年は会場に着く頃から雨が降り始め競技は雨の中でして午後からは中止になりましたが、今年雨の予報はなくほぼ曇天の一日で暑くもなく良かったです。

バス以外にマイカーでの参加者共で二〇名ほどが参加しましたが、選手として成績が良ければこの秋の全国大会に推薦されるかもしれません。担当者、ボランティアの人お世話様でした。

第64回日本身体障害者福祉大会 あきた大会

日程 令和元年5月22～25日
会場 秋田県 秋田県立武道館

日身連は障害者施策の最新の動向を知り運動方針の決定、功労者の表彰等のため毎年大会を開催していますが、今年秋田県で開催と予定されていりて広島県から日身連のツアーが参加者を募集しました。今年秋田県は東北での開催でもありこれまでで最長の四日間、予算も最大の一三万円近くかかりますが、けっこう応募者が多く募集定員をオーバーする人気状態になったようです。

その参加者たちは二十二日朝、県内各地から広島空港に集結し、空路羽田を経由し庄内空港に飛んで全国大会の旅が始まりました。この日は酒田市や鳥海山を観光して秋田市内のホテルに宿泊し明日の大会に備えました。

明くる二十三日は九時前ホテルを出発して一〇時からの秋田県立武道館での第六四回全国大会に参加しました。今回の旅のメインである大会は例年通り、挨拶や表彰の式典から始まり、そのあとは大会宣言などの議事を予定通り終了して来年は広島で会いましょうとなり、広島県の団体は会場から秋田まるごと市場にバス移動して昼食を取り、この日の観光に角館から田沢湖へと出発しました。

この夜は驚宿温泉に泊まり大宴会という予定になっており、県内各地からの参加者の交流の場となったようです。

翌日からの二日間は、新緑や各地の自然を楽しむ全くの観光日程となっていて、参加者たちは障害者に優しい行程での旅を心ゆくまで楽しんで帰られたようです。丸四日間お疲れ様でした。